

■ご挨拶

理事に就任致しました（ご挨拶と自己紹介）

日本風力発電協会 理事 企画部長 齊藤 長

（さいとう ひさし）

はじめに

本年5月30日の定時総会にてご承認頂き、当協会の理事に就任致しました齊藤 長です。2011年6月から事務局専従職員として会員の皆様とは日頃より接する機会が多々ありますので、お見知り置き頂いている方々も随分いらっしゃるかと思存しますが、これからは理事として皆様方のビジネス活動がより円滑且つ活発に展開されるように全力でサポートして参りたいと考えておりますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

自己紹介

1968年7月（獅子座）秋田県横手市（旧、雄物川町）に生まれ、高校卒業まで豊かな自然に恵まれた環境の中で健やかに（？）育ち成長しました。高校卒業後は建築意匠の世界に憧れを抱いて上京、勉強と息抜きをフィフティ・フィフティにこなしながら（ホントは2:8ぐらいでしたが・・・）建築関係の会社に入社・就業しました。

その後、幾つかの会社を転職することになるわけですが、社会人第一歩目の会社では、新築工事の現場監督や新築・増改築工事の施工管理の仕事を行っておりました。当時は作業服が普段着で両手にヘルメットと安全帯を抱えながら電車・徒歩通勤したり、そのまま仕事帰りに繁華街へ繰り出す等、良き先輩（？）にも恵まれたお陰で貴重な人生経験をさせて頂いたと懐古しております。

その後、二社目となる橋梁・鉄骨の製作・架設会社において風力発電の仕事との出会いがあり、以降今日まで、この仕事を通じて多くの方々との出会い・ご縁が得られました。これらの出会い・ご縁は今でも、またこれからも永続するものだと確信しており、そのことが間違いなく自身の活力になっております。

そして、三社目が前職となるわけですが、某海外メーカー製風力発電機の日本総代理店に在籍し、風力発電機の営業・契約業務を始め、ご契約頂いた物件のプロジェクト管理、さらに

物件引渡後のメンテナンス・サービスにおけるカスタマー・サポート業務など一気通貫な仕事をしておりましたが、2011年3月11日に発生した東日本大震災の余韻も覚めやらぬ同月末を以て、諸般の事情により同社を退職、そして今日に至った次第であります。

私と風力発電との出会い・付き合い

自己紹介でも少し触れましたが、私と風力発電との出会いは人生二社目の会社に入社した翌年に設置・稼働開始した関東国際高等学校・勝浦研修施設内のNEG-Micon製250kW風力発電機（1994年9月稼働開始、調べてみたら日本で37基目、（試験研究機や小形機を除く）商用としては6基目に設置された風力発電機でしたが、残念ながら、3年ほど前に廃止・撤去されてしまったようです・・・）の建設工事に携わったことがキッカケでした。その当時、私は風力発電の知識など全くなかったのですが、いわゆる“一目惚れ”をしてしまい、以後は自ら進んで手を挙げ同社の風力発電部門に居座り、サイト開発から発電所運営までの色々な実務を経験させてもらいました（お陰で橋梁・鉄骨の仕事には携わらず未だに素人同然です・・・）。

以来、今日まで23年ほど経ちましたが風力発電に対する愛情は一向に覚めず、逆に転機を迎える毎に深まっている感さえあり、今では私の最も愛する家族よりも長い時間を過ごしているほどの関係・付き合いとなっております。

おわりに

ここまで私の自己紹介らしからぬ半生・経歴を述べさせて頂きましたが、最後に一言。

この6年間で風力発電を取り巻く環境はある意味で発展的に変化しつつあり、風力発電が日本の電源の一角を担う世の中が実現しうる可能性を持てるステージに上がってきたと感じております。その実現に向け、不肖ながら一所懸命、粉骨砕身の覚悟で取り組む所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。